

平和首長会議加盟自治体の皆様

平素より平和首長会議の活動にご支援・ご協力いただき、心より感謝申し上げます。  
平和首長会議の近況をお知らせします。

<<今号の内容>>

\*\*\*\*\*

- ◆オバマ米国大統領が広島市を訪問しました
- ◆平和首長会議会長が、オリンピック開会式で黙とうを呼び掛ける文書を出しました
- ◆国際平和デー100日前メッセージを出しました
- ◆平和首長会議事務局がハノーバー市からインターンを受け入れました
- ◆平和首長会議 青少年「平和と交流」支援事業「ヒロシマ平和セミナー2016」への参加者を募集します
- ◆第9回平和首長会議総会の開催について（お知らせ）
- ◆ヒロシマ発平和関連ニュース（中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事）
- ◆加盟都市の活動紹介
- ◆平和首長会議情報システムについてのご案内
- ◆平和首長会議メンバーシップ納付金に御協力をお願いします
- ◆被爆樹木の苗木等の配付事業及び「平和の灯」の分火事業のご案内
- ◆平和首長会議原爆ポスター展を開催しましょう！
- ◆「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動を展開しましょう！
- ◆5月の平和首長会議会長訪問
- ◆平和首長会議加盟自治体数：161カ国・地域 7,063自治体

\*\*\*\*\*

\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

ホームページ：<http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html>

フェイスブック：<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>

「いいね！」をお待ちしています。

\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*

=====

### ◆オバマ米国大統領が広島市を訪問しました

[5月27日 広島市]

=====

5月27日、オバマ米国大統領が現職大統領としては初めて被爆地・広島を訪問しました。安倍首相と共に平和記念資料館を見学した後、原爆死没者慰霊碑に献花し、スピーチを行いました。

献花には、被爆者や広島市長、長崎市長、昨年のNPT再検討会議に平和首長会議代表団として参加した「ユース非核特使」の若者等100名が立ち会いました。17分間に及ぶスピーチの後、オバマ大統領は被爆者の人たちと言葉を交わしました。

平和首長会議は、この度の大統領訪問が、世界の政治指導者の被爆地訪問に繋がるとともに、「核兵器のない世界」に向けて共に歩みを進める歴史的な出発点になると考えています。今後も、世界の人々に被爆地訪問を呼び掛ける取組などを通して核兵器廃絶を訴えることにより、国際的な気運を高めていきます。

オバマ大統領の広島訪問については、下部掲載の中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供「ヒロシマ発平和関連ニュース」も併せてご覧ください。

▼オバマ米国大統領の広島訪問（概要と評価）（外務省ウェブサイト）：

[http://www.mofa.go.jp/mofaj/na/na1/us/page4\\_002105.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/na/na1/us/page4_002105.html)

=====

◆平和首長会議会長が、オリンピック開会式で黙とうを呼び掛ける文書を発出しました

[5月20日]

今年8月に、ブラジル・リオデジャネイロ市で開催される第31回オリンピック競技大会の開会式は、現地時間の8月5日夕方から行われる予定です。これは、日本時間8月6日の朝にあたり、広島への原子爆弾投下時刻8時15分が含まれています。

こうしたことから、平和首長会議会長である松井一實広島市長は、加盟都市であるリオデジャネイロ市の市長及び国際オリンピック委員会（IOC）会長に対し、オリンピックの開会式で黙とうを呼び掛ける文書を発出しました。武力紛争やテロの犠牲者を追悼するため、参加者が1分間の黙とうを捧げることを提案しています。

▼リオデジャネイロ市長及びIOC会長宛の要請文書（和訳）（平和首長会議ウェブサイト）：

[http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/statement/request/160520\\_Rio\\_IOC\\_jp.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/statement/request/160520_Rio_IOC_jp.pdf)

◆国際平和デー100日前メッセージを発出しました

[6月13日]

1981年、国連総会は、国際平和デーを設ける決議を全会一致で採択しました。その中には「国連及びその加盟国並びに全ての人々の力を結集して平和の理念の普及を図り、あらゆる手段を用いて平和実現への決意の証を示すための特定の時間を設ける」ことが盛り込まれています。これを受け、2001年の国連総会において、毎年9月21日を国際平和デーとして非暴力と停戦の日とすることが採択されました。国連は、この日一日敵対行為をやめること、また、全人類の平和や福祉に関する問題についての啓発事業を開催することを世界の人々に呼び掛けています。

これまで世界各地で国際平和デーを記念した行事が数多く行われてきました。平和首長会議も、その行動計画に全ての加盟都市に対して記念行事開催を呼び掛けていくことを盛り込んでいます。

国際平和デー100日前に際し、松井会長からのメッセージをお届けします。平和首長会議加盟各自治体におかれましては、こうした趣旨を御理解いただき、2016年の国際平和デー記念行事を開催してくださいようお願い申し上げます。

▼国際平和デー（2016年9月21日）100日前メッセージ全文（平和首長会議ウェブサイト）：

[http://www.mayorsforpeace.org/jp/topic/2016/Sep21\\_peaceday/160613\\_IDP100Day\\_message\\_J.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/jp/topic/2016/Sep21_peaceday/160613_IDP100Day_message_J.pdf)

▼International Day of Peace 21 September（英語）（国連ウェブサイト）：

<https://www.un.org/en/events/peaceday/index.shtml>

\* 貴自治体で開催する国際平和デー記念行事の内容について、次のメールアドレスまでご一報ください。平和首長会議ウェブサイト等でご紹介いたします。

▼Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)

◆平和首長会議事務局がハノーバー市からインターンを受け入れました

平和首長会議では、第8回総会において策定された行動計画に沿った取組として、平成26年度から平和首長会議インターンシップを実施しています。

この事業は、平和首長会議の役員都市やリーダー都市から職員等をインターンとして広島に招へいし、平和首長会議事務局の業務に従事してもらうことにより国際的な業務の推進を図るものです。また、インターンに被爆の実相についての理解を深め、ヒロシマの思いを共有してもらうことにより帰国後のそれぞれの都市で核兵器廃絶に向けた活動の充実、加盟都市間のネットワークの強化を図ることを目的としています。

5月26日から6月8日まで、平和首長会議の副会長都市でありリーダー都市であるハノーバー市（ドイツ）からインターンを受け入れました。

今年度末までに、ボルゴグラード市（ロシア）、ウエリントン市（ニュージーランド）、バンコク市（タイ）からのインターンを受け入れる予定です。

▼ハノーバー市からのインターン受け入れについて（平和首長会議フェイスブック）：

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace/posts/1606684752925585>

=====

### ◆平和首長会議 青少年「平和と交流」支援事業「ヒロシマ平和セミナー2016」への参加者を募集します

=====

平和首長会議は平成27年11月の理事会において、「青少年交流を通じた次世代への被爆の実相の継承」を、核兵器廃絶に向けて今後集中して取り組むための基盤強化策の一つとして決めました。

これを受け、広島市立大学で開講している講座「ヒロシマ平和セミナー2016」へ国内加盟都市の青少年を招へいする事業を新たに実施します。「ヒロシマ平和セミナー2016」は、平和研究及び国際関係に関心を有する公務員、メディア関係者及び大学院生を対象とする夏季集中講座です。昨年開催の「ヒロシマ70平和セミナー」を「ヒロシマ平和セミナー2016」に名称を改めて開催するものです。

つきましては、この事業に参加する国内自治体職員を募集しますので、7月12日（火）までに、必要書類を電子メール又は郵送にて提出してください。

▼詳細はこちら（平和首長会議ウェブサイト）：

[http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/projects/Youth\\_Exchange\\_for\\_Peace/index.html](http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/projects/Youth_Exchange_for_Peace/index.html)

▼書類提出・お問い合わせ先：

Email: [kokunai.mfp@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:kokunai.mfp@pcf.city.hiroshima.jp)

=====

### ◆第9回平和首長会議総会の開催について（お知らせ）

=====

来年8月、長崎市において第9回平和首長会議総会を開催する予定です。会議日程は調整中ですが、8月7日（月）から10日（木）までを予定しています。

この総会は、4年に1回、広島市と長崎市で交互に開催されるものです。2020年までの核兵器廃絶に向けた行動計画を審議するなど、平和首長会議にとって非常に重要な会議ですので、出席については是非とも御検討ください。

詳細については、各加盟都市に改めてお知らせいたします。

=====

### ◆ヒロシマ発平和関連ニュース（連載第20回）

[中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]

=====

政治家の演説というより、哲学者か宗教家の話を聴いているような感じ。そんな感想を持った人がいるかもしれません。71年前、広島と長崎に原爆を投下した米国の大統領として初めて広島を訪れたオバマ氏の原爆慰霊碑前での演説です。突然平穏な日常を奪われた子どもたちや女性だけではなく、朝鮮半島出身の人や米兵捕虜も原爆の犠牲になりました。そうした人たちへの配慮も示すなど、格調ある内容でした。プラハ演説に続き、核兵器廃絶の決意もあらためて示しました。謝罪の言葉はなかったものの、「原子の分裂につながる科学の革命は、道徳的な革命も求めている」「広島と長崎は核戦争の夜明けとしてではなく、道徳的な目覚めの始まりとして知られるだろう」などの表現からは、核兵器の使用は道徳的ではないと本当は言いたかったとさえ思いました。

ただ、残念ながら核兵器廃絶への具体策は全く示せませんでした。任期満了まで一年を切り、対外的にはロシア、国内では野党共和党との対立で思うように政策を進められなくなっている証拠でしょう。どこに焦点を置いて演説を分析するかで、さまざまな意見があります。被爆地や被爆者が国際的に関心

を集めたのは間違いありませんが、核兵器廃絶の道筋が見えてきたわけではなく、原爆投下が不要だったこと、非人道的な兵器であることが確認されたわけではありません。今回の歴史的訪問をどう生かすか、広島には宿題が課されました。

関連記事は次のアドレスで読めます。

○被爆者「共に前進を」 オバマ氏広島訪問 握手で言葉交わす

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=59961>

○核廃絶 具体策欠く 決意に物足りなさ オバマ氏演説 広島訪問

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=60014>

○オバマ氏演説 識者の受け止め

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=60005>

○投下は過ち 明言せずとも 編集局長・江種則貴 オバマ米大統領

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=59931>

○被爆者抱擁 和解なのか オバマ米大統領 感動呼ぶ場面 単純化違和感

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=60215>

(ヒロシマ平和メディアセンター提供)

=====

## ◆加盟都市の活動紹介

=====

-----  
\*美唄市（北海道）

市民文集「語りつぐ戦争のころ」第2集を公開

-----  
平成27年に戦後70年を迎えたことに関連し、美唄市では、市民文集『語りつぐ戦争のころ』第2集ウェブ版を編纂し、同市ホームページにて公開しています。この文集は、平成7年に編纂した第1集とともに、戦時中や戦後の市民の体験を次の世代に引き継ぎ、永く記憶に残していくことを目的としてとりまとめられました。

▼市民文集「語りつぐ戦争のころ」について（美唄市ウェブサイト）

<http://www.city.bibai.hokkaido.jp/jyumin/docs/2016032200026/>

▼加盟都市の活動（平和首長会議ウェブサイト）：

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/membercity/index.html>

<< 貴自治体の平和活動の情報をお知らせください >>

平和首長会議ホームページの「加盟都市の活動」コーナーに掲載する情報をお待ちしています。

貴自治体における平和に関する様々な事業の情報をぜひお知らせください。

貴自治体のホームページにリンクする形でご紹介しますので、記事のタイトル、英語版の有無、リンク先等の詳細を、次のアドレスにご連絡ください。

▼Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)

=====

## ◆平和首長会議情報システムについてのご案内

=====

平和首長会議では、加盟自治体間の情報共有促進を目的として、「平和首長会議情報システム」を運用しています。このシステムを利用して、各加盟自治体の情報の検索、各自治体の情報の更新等をしていただくことが可能です。平和首長会議の活動のために本システムを積極的に利用していただければ幸いです。

なお、首長や担当者の氏名・連絡先等、システムに登録している情報に変更が生じた場合は、平和首長会議事務局に修正依頼するのではなく、本システムにログインし、速やかに修正してください。各自治体の情報を常に最新のものに更新していただきますようお願いいたします。

システムの利用方法等については別途メールでお知らせしています。まだシステムを利用したことがない自治体の担当者の方は是非一度ログインしてみてください。

▼システムの URL: <https://www.mfpinfosys.org/>

平和首長会議情報システムに関するご質問等があれば、次のアドレスにお問い合わせください。

▼Email: [mfpssystem@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mfpssystem@pcf.city.hiroshima.jp)

=====  
**◆平和首長会議メンバーシップ納付金に御協力をお願いします**  
=====

平和首長会議では、平成 25 年 8 月の第 8 回総会において、今後の活動を活発化し、より連帯意識の強化を図ることを目的に、メンバーシップ納付金制度の導入を決定し、昨年度から 1 自治体当たり年額 2,000 円の負担をお願いしています。

加盟自治体の皆様へは、本年 4 月 1 日付けで請求書等を郵送しております。請求書の納付期限は 6 月 30 日（木）となっておりますので、御対応のほどよろしく願いいたします。また、納付が困難な自治体の皆様におかれましては、その旨を御連絡いただきますようよろしくお願い申し上げます。

なお、仮に納付金を負担しない自治体があったとしても、その自治体に離脱を求めることはしない旨、第 8 回総会で決定していますので、そうした場合でも、引き続き平和首長会議に加盟していただき、住民の方々の平和な生活を守るため、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向け共に行動していただければ幸いです。

皆様の御協力をお願いいたします。

▼Email: [kokunai-mfp@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:kokunai-mfp@pcf.city.hiroshima.jp)

▼FAX: 082-242-7452

=====  
**◆被爆樹木の苗木等の配付事業及び「平和の灯」の分火事業のご案内**  
=====

平和首長会議では、平成 25 年 8 月の第 8 回総会において策定された行動計画の具体的取組である被爆樹木の苗木の配付事業及び「平和の灯」の分火事業を平成 26 年度から開始しました。

5 月 1 日から 31 日までに、国内については、三重県伊勢市、東京都江東区、愛知県岩倉市にアオギリとクスノキの苗木を配付しました。海外については、オークベイ市（カナダ）、マラコフ市（フランス）、ティエーネ市（イタリア）、キングストン・アポン・ハル市（英国）にイチョウ等の種を配布しました。また、スイス・ジュネーブ市の国連欧州本部で開催された国連公開作業部会 5 月会合に合わせ、同本部にイチョウの苗木を贈呈しました。

被爆樹木の苗木又は「平和の灯」の受け入れを希望される場合、所定の申請書を E メール又は FAX にて事務局までお送りください。

※被爆樹木の苗木の配付については、配付本数に限りがあるため、万一不足することになった場合は翌年度以降の送付となりますので、あらかじめご了承ください。

※両事業は、通年で行っているため特に申請期限はありません。また、来年度以降も継続して実施しますので、来年度以降の受け入れについても、是非ご検討いただければ幸いです。

▼Email: [kokunai-mfp@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:kokunai-mfp@pcf.city.hiroshima.jp)

▼FAX: 082-242-7452

=====  
**◆平和首長会議原爆ポスター展を開催しましょう！**  
=====

平和首長会議では、第 8 回総会において策定された行動計画に沿った取組として、平和首長会議原爆ポスター展に国内外の加盟都市を挙げて取り組んでいます。

引き続き、ポスター展の開催にご協力ください。

※ポスター概要：標準サイズ A2 版、18 枚

▼ポスター展の詳細及びポスターのダウンロード

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/projects/poster/index.html>

=====  
**◆「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動を展開しましょう！**  
=====

2020年までの核兵器廃絶を実現するために最も効果的な方法は、世界のすべての国が「核兵器禁止条約」を締結することです。「核兵器禁止条約」とは、核兵器の製造、保有、使用等を全面的に禁止する条約です。

皆様のご協力により、2016年6月1日現在、2,368,194筆の署名が集まっています。

今後とも、全加盟都市を挙げて積極的に署名活動を展開しましょう。

(署名はインターネットからも可能です。)

▼署名用紙 (PDF)

[http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/01\\_monthly\\_updating/11\\_petitionform\\_jp.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/01_monthly_updating/11_petitionform_jp.pdf)

▼オンライン署名

<https://www.ssl-z.city.hiroshima.jp/pcf/jp/form.htm>

▼関連情報：広島市の市民署名活動の展開

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/00000000000000/1333414321137/index.html>

=====  
**◆5月の平和首長会議会長訪問**  
=====

松井一實広島市長・平和首長会議会長は、5月に次のような来訪者の表敬訪問を受けました。その際に平和首長会議の取組及び加盟要請への協力をお願いしました。

\*5月16日(月) ラースロー・クヴェール ハンガリー国会議長

\*5月19日(木) ジョアン・ミゲル・ヴァケヘニ駐日アンゴラ共和国特命全権大使

\*5月20日(金) 陸浩 中華人民共和国全国人民代表大会環境と資源保護委員会主任委員

\*5月21日(土) ティーラト・シン・タクル インド最高裁判所長官

=====  
**◆平和首長会議加盟自治体数：161カ国・地域 7,063自治体**  
=====

今月新たに21自治体が加盟し、平和首長会議の加盟自治体数は6月1日現在で7,063(161カ国・地域)となりました。皆様の御協力に心から感謝申し上げます。

テヘラン平和博物館の呼び掛けにより、イランから15自治体が加盟しました。これにより、同国の加盟自治体数は866となりました。また、4月にカナダ・リッチモンド市の市長代理ビル・マクナルティ市議会議員が長崎市長を表敬訪問した際、加盟申請書が手渡され、6月1日付で加盟となりました。この他、ドイツから2自治体、イタリア、オランダ、ベルギーから各1自治体が加盟しました。

引き続き近隣未加盟自治体や姉妹都市への働き掛けなど皆様の御協力をよろしく申し上げます。

▼6月1日付新規加盟自治体一覧(PDF)

[http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/2016/newmembers1606\\_jp.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/2016/newmembers1606_jp.pdf)

▼加盟自治体マップ

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/membercity/map.html>

\*\*\*本メールニュースに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください\*\*\*

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町1-5

(公財) 広島平和文化センター 国際部 平和連帯推進課

TEL:082-242-7821 FAX:082-242-7452

Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)